

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2025

8

vol.332

**酪農意見体験発表の部において
椎谷 美保さん 最優秀賞を受賞**

第65回農林水産祭参加表彰行事
第52回全国酪農青年女性酪農発表大会



TOPICS

- ・ 酪王協同乳業株式会社 新工場落成記念式典開催 …………… ②
- ・ 第16回全日本ホルスタイン共進会 福島県最終選考会… ③
- ・ 第52回全国酪農青年女性酪農発表大会開催 ……… ④～⑤

酪王協同乳業株式会社が新工場の落成記念式典を開く



鏡開き

酪王協同乳業株式会社は7月18日、郡山市内ホテルで新工場の落成記念式典を開きました。式典には、県内外の酪農乳業関係者、工事関係者など約100名が出席し、新工場稼働を祝いました。

式典冒頭、佐久間康博社長は、新工場建設に関わった全ての関係者に謝意を伝え、たうえで「当工場は福島県および東北の生乳処理基幹工場として、さらには地域の生産者と消費者をつなぐ架け橋として、その役割を果たす所存だ。また、酪農を支える生産者の皆さまの真摯な思いと、消費者の皆様から寄せられる信頼をしっかりと結びつける企業として全力を尽くしていきたい」と挨拶されました。

来賓祝辞は、福島県農林水産部長 沖野浩之様、全国農業協同組合連合会常務理事 由井琢也様、福島県酪農業協同組合代表理事組合長 紺野 宏様の3名から頂き、鏡開き後に参加者の歓談へと移りました。

歓談中は、会場内のDVD上映で新工場の様子が報告され、MANAMI&らっくースペシャルライブ、お祝いビデオメッセージで出席者を和ます心こもった式典となりました。

酪王協同乳業株式会社が福島県を代表する乳業会社として続いていくよう、福島県地域ブランド「酪王牛乳・酪王カフェオレ等」酪王協乳製品について、今後も皆様のご支援・ご声援をよろしくお願い致します。



MANAMI&らっくースペシャルライブ



福島県酪 紺野組合長挨拶



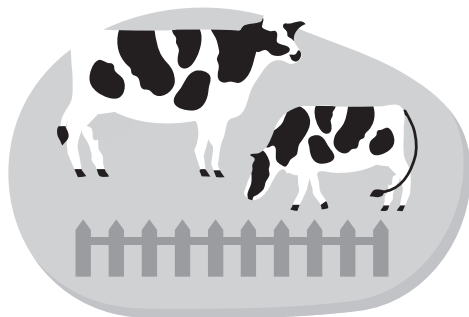
酪王協乳 佐久間社長挨拶

第16回全日本ホルスタイン共進会 福島県最終選考会(第2期出品牛選考会)開催

本年10月25日(土)～26日(日)、北海道勇払郡安平町の北海道ホルスタイン共進会場で開催される第16回全日本ホルスタイン共進会福島県出品牛最終選考会(第2期出品牛選考会)が下記のように開催されます。

福島県の代表として出場し、全国の乳牛と競い合う5頭が決定いたします。

皆さん、ご来場いただき、応援をお願いします。



開催日時：令和7年9月17日(水) 13:30～

開催場所：福島県家畜市場(本宮市)

審査員：シーメックス社

マイケル・ハーンバックズ 氏

出場頭数：第1期福島県出品牛

32頭(R7.7.31現在)

スケジュール：●開 会

13:30

①主催者挨拶

13:30～13:35

②審査員挨拶

13:35～13:38

③選考方法説明

13:38～13:40

●審査・選考・選出(高校特別枠)

13:40～13:50

●審査・選考・選出(Jサイヤ枠)

13:50～14:00

●審査・選考・選出(一般枠)

14:00～14:40

①審査・選考(未経産牛)

14:00～14:15

②審査・選考(経産牛)

14:15～14:30

③選考・選出

14:30～14:40

●第2期出品牛(福島県代表牛)紹介

14:40～15:00

●閉 会

15:00

全国酪農青年女性会議主催

「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」が岡山で開催 !!

**酪農意見体験発表の部において、
椎谷 美保さん 最優秀賞を受賞**

7月17日(木)～18日(金)に岡山県岡山市「ホテルグランヴィア岡山」において、「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」が開催され、全国から464名の酪友、関係者が参加しました。

地域の代表として全国大会へ出場を決めた酪農経営発表6名、酪農意見体験発表5名が経営形態や取組、酪農に対する思い、これからの目標など発表しました。

審査結果については、酪農経営発表の部の最優秀賞には九州酪農青年女性会議 高木大輔さん、酪農意見体験発表の部の最優秀賞には東北酪農青年女性会議 椎谷美保さん、審査委員長特別賞には九州酪農青年女性会議 古川真弓さんが受賞しました。

第51回 らくのうこどもギャラリー

応募総数304点の中から12点の入賞作品が選ばれました。福島県から応募した村上陽香さんが特選に選ばれ、あわせて4点の作品が入賞しました。



特選 「うしさん」

会津若松市立松長小学校 1年 村上陽香さん



酪農意見体験発表の部に東北酪農青年女性会議代表として、「牛の幸せは私の幸せ」と題し発表した椎谷さんについて、栗本審査委員長から「別な分野から就農し、アニマルウェルフェアの考えを取り入れながら牛たちの幸せのために取り組んで成果を出している。自分自身も酪農を楽しんでいて、心の底から牛が好きという思いで発信するSNSで牛のファン、牛推しが一般消費者の間に広がっている。さらにもっと広がることを期待したい」と講評いただきました。

椎谷さんには昨年の秋から酪農に対する思いを文章にまとめていただくなど、様々な準備等をいただき、福島県での発表大会、東北での発表大会に向けて、何度も打合せに足を運んでいただきました。全国発表大会において、牛たちへの思いが伝わる発表ができ、素晴らしい結果に結びつきました。改めて、椎谷さん、最優秀賞の受賞おめでとうございます。

まだまだ、酪農業界は厳しい中ではありますが全国から酪農家が集まる発表大会において、酪友との交流や新しい出会い、さらには発表者の発表を通して酪農の魅力やすばらしさを発信することができた大会となりました。

来年の全国酪農青年女性酪農発表大会は令和8年7月9日(木)～10日(金)に沖縄県那覇市「ロワジールホテル那覇」にて開催予定です。



第15回 酪農いきいきフォトコンテスト

応募総数45点の応募があり、発表大会の会場内に展示し、参加者による投票が行われました。福島県から応募した県南地区 木目澤久實子さんの作品が入賞しました。



入賞 「じいじのお手伝い」 木目澤久實子さん

福島県乳牛改良推進協議会主催

牛群検定に関する研修会を開催

令和7年7月10日(木)農業総合センター大会議室において、「乳牛の飼料設計に必要な栄養学の基礎」と題し、広島大学生物生産学部 副学部長 杉野利久 氏よりご講演いただきました。当日は、関係団体職員や生産者合わせて45名が出席しました。

令和5年度から開催している牛群検定研修会ですが、研修会後のアンケートでは県普及員等現場で活動している方から“飼料設計について勉強したい”という要望を多数いただいております。その要望を受け、今回のテーマで研修会を開催しました。

飼料設計をする上で、栄養素の一つ一つの意味を知ることが大事であるということで、炭水化物・脂質・タンパク質に分けて、細かく説明がありました。

誰の為のエネルギーとなるのか（乳牛なのか、ルーメン内の微生物なのか）を考え、利用する飼料の性質（原料の加工方法）も加味して、飼料設計を行う必要があります。自給飼料は特に、収穫方法や収穫時期、加工方法で成分が異なってくるそうです。飼料分析をうまく行いながら、飼料設計をしていきましょう。

研修会のおまけとして、乾乳牛の暑熱対策の話があり、乾乳期にクーリングをおこなうことで、分娩後の乳量反応で4kg/日の差が出ると情報提供がありました。搾乳牛は暑熱対策を行っている方がほとんどかと思いますが、夏場に乾乳している牛ほど、暑熱対策を行い、分娩後の乳量をしっかりと確保することが必要とのことでした。

牛は餌を食べる量は一緒であり、乳量（収入）が異なると、どのくらい収益に差がでるか、実際に金額が提示され、乾乳期の暑熱対策の重要性がわかったと思います。

また、海外での研究結果として、一時のクーリングにより、子や孫世代まで影響があるとの話がありました。生存率や乳量にまで影響を及ぼすとの話はインパクトがありました。

毎年のように猛暑となっておりますが、牛が必要としている栄養素を理解し、エサとして提供し、暑熱対策等の環境を整えてあげることで、牛本来が持っている能力を最大限発揮してもらいたいと思います。



講師 広島大学 杉野利久氏



令和7年度毛刈り講習会



7月15日(火)福島県家畜市場（本宮市）において、福島県乳牛改良推進協議会主催（会長 岩谷金良）の毛刈り講習会を開催しました。山形県酪農家である渡辺雄大氏を講師に迎え、高校生や酪農後継者、酪農関係団体より46名の参加がありました。

例年9月頃に開催しておりましたが、今年は10月に全日本ホルスタイン共進会（以下、全共）を控えていることから、全共出品候補牛になっている酪農家向けに毛刈りの方法を教えていただきました。

バリカンを初めて使う人もおりましたが、教材牛（育成牛2頭）を用い、体全体の毛刈り、背のトップラインの仕上げ方、その際のドライヤーの使い方等、実際に体験してもらいながら勉強することができました。

暑い中での開催となりましたが、多くの方に参加いただき、無事に開催することができました。今回学んだことを自分の牛で実践してもらい、全共に向けて、頑張ってもらいと思います。

このような研修会が、酪農後継者や学生にとって、酪農に興味をもってもらうきっかけの場となればと考えております。今後も、多くの方が参加できるような研修会を企画していきますので、ぜひご参加ください。



講師 渡辺雄大氏



福島県乳牛改良推進協議会
会長 岩谷金良氏

第56回福島県酪農協職員業績発表大会を開催



第56回福島県酪農協職員業績発表大会を7月9日(水)福島県酪農業協同組合会議室で開催しました。

業績発表大会は、本組合職員の技術研鑽並びに情報交流を図るため、日常業務について発表し、組合員の負託に応えるとともに、酪農振興に寄与することを目的に行われております。

2部制にて発表が行われ、第1部獣医診断治療等獣医技術に関することに3名、第

2部酪農家の生活向上・経営向上等に関することに7名の合計10名が発表しました。

第1部の審査員には、福島県農業総合センター畜産研究所酪農科長 新妻恭子氏、日本全薬工業株式会社 キャトル営業部 テクニカルマネージャー 後藤篤志氏をお招きし、第2部の審査員には、本組合から紺野宏組合長、岩谷宏常務理事、野口泰幸生産部長に審査をいただきました。

そのうち1部で発表した指導診療所 幕内裕人さんが審査員より推薦され、7月28日(月)に開催された第63回福島県獣医畜産技術総合研究発表大会に出場しました。



第56回職員業績発表大会発表者

部	褒賞	所属	発表者	テーマ
第一部	優 秀 賞	指導診療所	幕内 裕人	受精卵移植における前処置の有無と器具の違いが受胎率に及ぼす影響について
	優 秀 賞	指導診療所	小代 具毅	受精卵移植における受胎率向上の取組
	優 良 賞	指導診療所	古姓 保	卵巣の血流量評価と乳成分、繁殖成績との関係性について
第二部	最優秀賞	生産指導課	根本美和子	令和4年～6年度における酪農経営の推移
	優 秀 賞	販 売 課	森 直也	生乳委託者委員会「生乳検査所」の稼働状況について
	優 秀 賞	復興牧場 設立準備室	甲斐 響	復興牧場事業に係る農地集積について
	優 秀 賞	生産指導課	大槻 咲弥	組合取扱飼料における比較
	優 良 賞	生産指導課	岡野 巧	事業継承の事例紹介について
	優 良 賞	生産指導課	坂本あゆみ	牛群検定結果の活用について
	優 良 賞	生産指導課	渡邊 真樹	指定日営業からの1年間（会津事務所編）

福島県酪農業協同組合・酪王協同乳業(株)共催

グループ合同研修会開催



令和7年7月29日(火)に酪王協同乳業(株)本社工場にて、福島県酪農協と酪王協同乳業(株)共催のグループ合同研修会が開催されました。配属年数の浅い若手職員・社員を対象に、生産者団体と乳業の相互理解を深め、次世代の人材を育成する目的で企画された合同研修会です。組合からは7名、乳業からは10名の計17名が担当業務を発表しました。時間のない中、要点を分かり易く資料にまとめ、とても良い発表でした。研修会終了後には懇親会を行い、全体を通しとても有意義な研修となりました。

参加した職員・社員からは、業務理解が深まった、資料作成やプレゼン手法など刺激になった、グループ認識が高まったなど、総じて合同研修会に参加して良かったという感想を多数いただいております。これを機に、定例研修会として今後も継続していければと考えております。発表者の皆様、大変お疲れ様でした!!

第1部 福島県酪農業協同組合

「購買畜産課について」	購買畜産課	鈴木和日葉
「生産指導課業務紹介」	生産指導課	渡邊 真樹
「経営管理部の業務について」	経営管理課	高橋 輝
「酪農組合における獣医師の仕事」	指導診療所	久保 葵
「組織振興課の業務概要について」	組織振興課	矢野 恵
「販売課の業務内容について」	販売課	佐藤 雄介
「復興牧場設立準備室事業について」	復興牧場設立準備室	甲斐 響

第2部 酪王協同乳業株式会社

「物流戦略部 物流課業務紹介」	物流課	駒崎 勝己
「販売部の業務について」	営業課	小林さくら
「企画開発課の仕事について」	企画開発課	鈴木ひかり
「総務・コンプライアンス課 業務紹介」	総務・ コンプライアンス課	長谷川大輔
「生産管理 業務内容」	生産管理課	生江 清三
「製造1課 調合係業務紹介」	製造1課	吉田 誠
「製造1課 受入係業務紹介」	製造1課	増子 大輝
「製造2課 業務紹介」	製造2課	鈴木 龍介
「製造3課 業務紹介」	製造3課	菅野 将
「品質保証部品質管理課の業務について」	品質管理課	國分 江梨

福島県酪農青年研究連盟主催

第1回酪青連酪農後継者支援研修会開催



6月16日(月)磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」にて、福島県酪農青年研究連盟主催の第1回酪青連酪農後継者支援研修会を開催しました。本研修会は、福島県による次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業を利用した研修会となっております。当日は酪青連会員、各関連団体より56名の方々が参加しました。

今回の研修会は2部構成としており、午前は「暑熱期の蹄管理」と題して、講師には㈱HOOF SUPPORT代表取締役 橋本勝 氏、午後は「～夏を制する者は酪農を制す！～暑熱対策で乳生産をキープしよう～」と題して、講師を全国酪農業協同組合連合会 大阪支所技術顧問 永井 秀樹 氏にお願いしご講演いただきました。

午前の研修では、暑熱期に削蹄を行い、秋以降の蹄病予防をする重要性の話がありました。特に暑熱期に乾乳である牛は要注意で、夏場に群全体の削蹄が難しい場合は、乾乳牛だけでも削蹄してほしいと提案がありました。

午後の研修では、暑熱対策の話があり、乳牛は気温24℃以上になると湿度関係なく、ヒートストレスを感じるようになり、採食量も低下し、乳量が20～30%も低下することがあるそうです。また、涼しい時間帯に固め食いをすることもある為、嗜好性のよい飼料を、常に食べやすい位置に置くことが重要です。牧草であれば、3～5cmほどにカットして、食べやすくしてあげること、また飼槽を明るくする（目標200ルクス：床で新聞が読めるぐらいの明るさ）ことも効果的だそうです。

ファンの設置、細霧装置の設置、牛舎屋根の対策（散水・二重屋根・遮熱塗料等）、水槽の見直し等、暑熱対策の事例が紹介されました。

今年の夏も、例年のことながら猛暑となっています。研修会で学んだことを生かし、暑熱対策にぜひ取り組んでください。

次回、第2回酪青連酪農後継者支援研修会は、12月に開催予定です。多くの皆様のご参加をお願いします。



蹄の模型

県中やまびこ会夏期研修会



私たち県中やまびこ会は、7月1日(火)本所にて毎年訪れる猛暑・酷暑に備えて「子牛の哺乳管理と暑熱対策」について、獣医師の梶先生を講師にお願いし研修会を行いました。

研修内容はとても勉強になることばかりで、暑熱対策の他に初乳の必要性・子牛の脱水症状の応急処置の仕方・梶先生の実体験など経験してきたからこそわかるお話を聞くことが出来ました。

また、以前から「職員がわからない」という声があり、せっかく本所で研修会が出来たので、研修の前後に簡単な挨拶と自己紹介を兼ねて組合の職員の方々にも来ていただきました。

初めましての職員もいれば、県中支所時代から知っている職員もいてこちらも良い機会になりました。昼食は豪華なお弁当とスイーツを堪能し、談笑にも花が咲き充実した一日になりました。

改めて講師を引き受けていただいた梶先生とご参加いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

県中やまびこ会会長 斎藤麻貴子



全酪連の小窓 8月号 ～夏場の哺育管理～



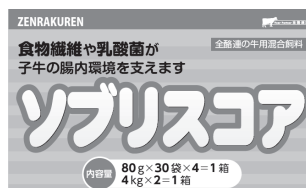
今夏は雨が少なく、30℃を超える日々が続くため、暑さをより感じる夏になっているのではないのでしょうか。暑いときは寒い冬と同じく、自身の体力維持の要求量が増すためエネルギー不足になりやすいことが分かっています。今月は生産者応援ということで、哺育飼料のキャンペーンも行っていますので、ぜひこのタイミングでご利用ください。

環境温度とエネルギー要求量

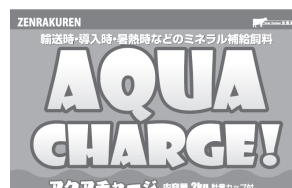
2021年に発表されたNASEM（新飼養標準）では、45kgの子牛では30℃を超えると暑熱ストレスがかかり、維持エネルギーが増加することが分かっています。0.50Mcalは代用乳100g程度に相当しますので、暑熱時には約20g、寒冷時には約100～200gの増量が必要になります。哺乳量を変えるよりは成分を変える（EX→EXブラックに変える）ことも検討してみてください。

気温 (°C)	維持のための代謝エネルギー要求量 (Mcal/日)			
	21日齢未満	増加量 (Mcal)	21日齢以上	増加量 (Mcal)
30	2.03	+0.17	2.15	+0.17
25	1.86	0	1.98	0
20	1.86	0	1.98	0
15	2.03	+0.17	1.98	0
10	2.21	+0.35	1.98	0
5	2.38	+0.52	2.15	+0.17
0	2.56	+0.70	2.33	+0.35
-5	2.73	+0.87	2.50	+0.52
-10	2.91	+1.05	2.68	+0.70

この時期に注意することは、水分やミネラルが失われた脱水状態になってしまうことです。通常の水給与とは別に、電解質の給与経口や腸内環境のサポートが可能な製品の給与で早期に対応しましょう。



↑ 腸内環境サポートに



↑ 経口補液に

ZENRAKUREN

Your Partner 全酪連

脱水対策

子牛の体内の水分量は、体重の約70～80%とされています（40kgの子牛で約28～32kg）。通常の排泄に加え夏場は発汗などで水分やミネラルが失われやすいため、下痢が発生しやすい時期でもあります。脱水症状を早期に発見することで、子牛にかかる経費を削減することにも繋がるため、ぜひ下表を参考に脱水具合を確認してみてください。

～皮膚つまみテストの方法～

脱水レベルは、主に臨床症状と皮膚つまみテストによって判定します。

皮膚つまみテストとは、皮膚をつまみ上げてからもとの位置に戻るまでの時間を測定する方法です。脱水が進むと皮膚は乾燥して弾力性を失うため、もとに戻るまでの時間が長くなります。

脱水（％）	所見	皮膚つまみテスト（秒）
<5		<2
6	皮膚弾力の低下、口腔の乾燥、結膜の充血	4～6
8	眼球の陥没、中程度の沈鬱	6～8
10	口腔と四肢の冷感、起立不能	8～10
12	ショック症状	20<

脱水率が10%までであれば、経口補液で対応可能となります。経口補液用製品や腸内環境のサポートが可能な製品の給与で早期に対応しましょう。

* 経口補液を給与する際の注意点

第4胃内での代用乳の濃度変化による消化不良を防ぐため、**哺乳直後はできるだけ避けましょう！**

また、溶解濃度が不適切な場合、脱水症状を助長する可能性がありますので、**溶解割合には注意しましょう！**

重度の脱水時には、右写真のように眼球が落ち込んで見え、目頭と眼球の間に隙間ができるようになります。（脱水率8%）

この時点の脱水兆候が見られる場合では、早期の対応が必要になります。



ご不明な点がございましたら、全酪連スタッフや福島県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.248



乳房炎を改めて考えてみる ～その3 ライナースリップについて①～

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

今年の夏は毎日暑い日が続いています。牛は徐々に体力が削られていき、免疫力の低下も予測されます。乳房炎の発生も多くなる時期です。原因となる菌の侵入をできるだけ少なくすることが乳房炎予防の大きな要素です。

今回はライナースリップについて考えてみます。

おさらい ライナースリップがどうして乳房炎の原因となるのか

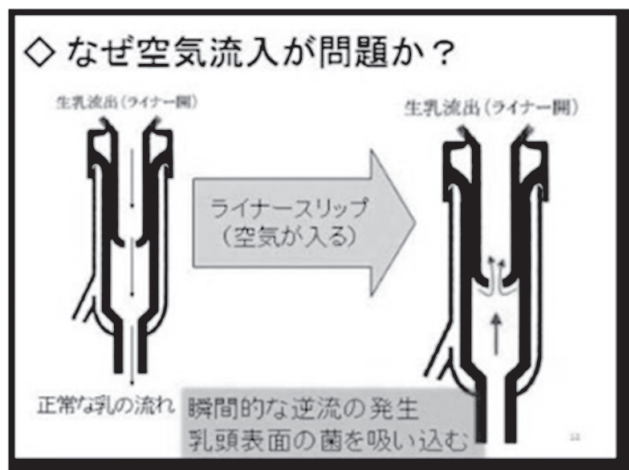


図1 乳汁の逆流

ライナーズリップ、つまり空気の流入が起こると真空圧は低下します。そうすると、ライナーの中では、今まで引っ張られていた乳汁が瞬間的に逆流する現象が起こるのです。

その逆流と同時に、乳頭口周りの細菌も乳頭内に吸い込まれてしまいます。

(図1)

今回はライナーズリップの起こる原因と対策についてお話したいと思います。

まずは乳頭の清拭をしっかりと

ライナーズリップの原因と対策の話の前に、まずはじめにやっていただきたいのは、ライナーズリップが起きて乳汁が逆流しても大量の菌が乳房に入らないようにミルカー装着直前の乳頭をしっかりと清拭やブレディッピングをしてください。たとえ、搾乳中のライナーズリップで乳汁の逆流があっても乳頭に付着している菌をできる限り少なくすることで乳房炎感染のリスクを少しでも減らすことができます。

乳頭の清拭方法や消毒方法はまた次回以降話題提供していきます。

ライナースリップの原因は...

ライナースリップの原因は、最近ですと

①乳頭のサイズとライナーの規格のバラつき ②乳頭の付着とクローのバランス ③牛の性格（何やっても落ち着かない牛）④乳頭の痛み（真空圧と離脱タイミング、過搾乳）と言われています。

①は、農場の皆さんも経験上、乳頭口のサイズとライナー径が合わない牛、搾乳終盤になると乳頭がしぼんでライナースリップが起こりやすいと感じられる方も多いかもしれません。

しかし、たくさんの乳頭に合うサイズのミルカーを準備することは現実的に不可能なので昔からほとんどの牛が合うサイズのライナーゴムが採用されてきました。それに合わない極端に太かったり細い乳頭は結果、乳房炎になっている可能性が高かったと思います。

②は、農場で何とかなるかもしれません。乳頭の付着とは、ミルカーを装着する際にどれだけ乳房が張っている状態であるかという事です。これは搾乳手技が大きく関係しており、搾乳には必要不可欠な【オキシトシン】というホルモンをどれだけ利用できるかがポイントとなります。ある特定の牛はライナースリップが起こりやすく、乳房の張りが少し不足している場合、前刺激からの時間を調整するか、前刺激をもっと強くするなど調整が必要かもしれません。また、クローのバランスは、『アライメント』と呼ばれており、図2のようにロングミルクチューブに引っ張られてミルカーが傾いている状況を言います。皆さんも経験上、ミルカーを引っ張ると牛乳がよく出るなんてことあるかもしれませんが、4本の搾乳スピードが変わってくると同時に搾乳が終わらずに早く搾乳が終わった乳頭から細くなりライナースリップが起こります。ミルクチューブのフックなどを使いちゃんとバランスを取りましょう。

また、4本同時に搾乳が終わる様に、初産から4本同時に離脱する癖をつけるように心がけましょう。

③は気難しい牛や臆病な牛など搾乳しにくい牛が搾乳中動くことでライナーに空気が流入してライナースリップが起こりやすくなります。これも①同様に毎回補助するなど気を使うしかありません。

④は、何らかの理由で乳頭が痛いために搾乳中に足踏みなどしてライナースリップが起こりやすくなります。

例えば、まだオキシトシンが出ていなくて搾乳が痛い可能性もあります。



図2 クローのバランスが悪い
➡方向に引っ張られています

今回は、ライナースリップが起こる原因と対策についてお話しました。（なかなかの長文になり読むのが大変だったと思います。ごめんなさい）

次回は、ライナースリップの原因の一つである②のライナーゴムの乳頭への付着の対策をもう少し深掘りと、搾乳中のライナースリップが搾乳自体に与える影響などをお話したいと思います。

毎日毎日暑い日が続きますが、酪農家の皆様にはご自愛いただきますようお願い致します。 O

参考文献：釧路総合振興局ホームページ技術情報2020年7-8月 ハードマネジメント情報2010年6月

令和7年度6月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、132円6銭7厘で前年より25銭2厘下回る単価となりました。

生乳取引価格については、令和7年6月1日取引分から脱脂粉乳・バター等向け3円/kg（うちバター向け7円/kg）及び生クリーム等向け3円/kg（うち生クリーム向け7円/kg）の値上げが、令和7年8月1日取引分からは飲用向け及び醗酵乳等向け4円/kgの値上げが、令和8年4月1日取引分からは学乳向け4円/kgの値上げが決定されております。

■東北全体プール乳代金 4,621,780千円 単価129.778円

■内 福島県分プール乳代金① 454,060千円 単価129.778円

プール対象外乳代金② 150,863千円

（学乳向け・買取向け乳代金）

合計乳代金①+② 604,923千円 単価133.978円

項 目	令和7年6月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	130円841	131円349	-0円508	121円504
補給金単価	0円943	0円746	0円197	0円873
集送乳調整金単価	0円283	0円224	0円059	0円266
合 計	132円067	132円319	-0円252	122円643

（注）上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

（東北全体6月）

用 途 別	販売乳量 (^ト ン)	日 量 (^ト ン)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	25,558	852.0	97.8	67.1	69.3
加工向け	3,242	108.0	127.0	8.5	6.8
学校給食向け	2,462	82.0	101.8	6.5	6.4
醗酵乳向け	6,131	204.0	102.0	16.1	15.9
生クリーム向け	551	18.0	122.1	1.4	1.2
チーズ向け	131	4.0	98.9	0.3	0.4
合 計	38,075	1,268.0	101.0	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

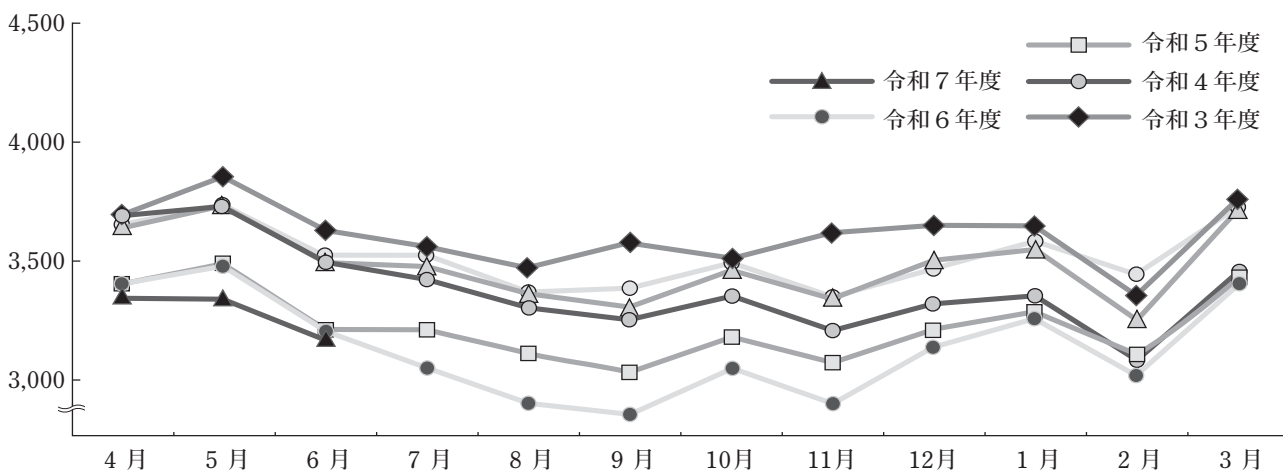
北海道：103.8%、都府県：99.1%

団 体 名	6 月 分		
	受託乳量 (^ト ン)	日 量 (^ト ン)	前年比 (%)
県 酪 協	3,181	106.0	99.2
全農福島県本部	1,348	44.9	95.7
合 計	4,529	150.9	98.1
東北生乳販連	38,075	1,269.2	101.0
全 国	583,245	19,441.5	101.8

月別受託乳量 県酪協（トン）

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981	2,897	3,078	2,990	3,141	3,266	3,034	3,416	37,952
令和7年度	3,359	3,444	3,181										
前年比%	98.6	99.0	99.2										

単位・トン



令和7年度受託乳量の状況

令和7年6月の受託乳量は、県全体で前年比98.1%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,181^ト・前年比99.2%（対前年同25^ト減）、全農県本部は1,348^ト・の対前年比95.7%（対

前年同月61^ト減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比101.0%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.8%となりました。

令和7年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが127.0%、学校給食向けが101.8%、醗酵乳向けが102.0%、生クリーム向けが122.1%と上回り、飲用向けが97.8%、チーズ向けが98.9%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和7年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比17銭引き上げの「9円09銭」、集送乳調整金を同5銭引き上げの「2円73銭」、総交付対象数量については、前年度と同じ「325万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年

度比22銭上げの「11円82銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、飼料費の増加、子牛価格の下落にともなう副産物収入の減少などがあり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳経費の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、4月から稼働開始した今月の酪王協同乳業（本宮工場）の生乳使用量は日量平均110.8ト（前年比－%）で、県全体生産量の73.4%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和7年度	128.424	128.905	132.067										
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136	133.294	132.236	132.474	128.774	129.667	130.399	127.569	130.564
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和7年6月30日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 21	戸 23	% 91.3%	頭 381	頭 181	頭 162	頭 449	頭 613	頭 1,224	頭 1,786	頭 1,810	% 98.7%	頭 85.0
県 中	42	44	95.5%	259	103	148	374	568	1,090	1,452	1,521	95.5%	34.6
浜	6	6	100.0%	96	35	35	74	96	205	336	314	107.0%	56.0
県 南	28	31	90.3%	499	217	209	602	878	1,689	2,405	2,444	98.4%	85.9
合 計	97	104	93.3%	1,235	536	554	1,499	2,155	4,208	5,979	6,089	98.2%	61.6

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和7年 7月	令和7年 8月	令和7年 9月	令和7年 10月	令和7年 11月	令和7年 12月	令和8年 1月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛
県 北	頭 104	頭 113	頭 127	頭 113	頭 107	頭 116	頭 112	戸 19	kg 31,687	kg 1,668	kg 29.8	kg 25.9
県 中	79	70	83	77	70	132	114	41	25,959	633	27.6	23.8
浜	26	20	12	19	19	25	23	6	4,915	819	28.9	24.0
県 南	134	126	151	142	133	144	198	27	43,479	1,610	29.4	25.7
合 計	343	329	373	351	329	417	447	93	106,040	1,140	29.0	25.2

第357回 県酪協乳牛市場成績

令和7年7月11日開催

購買者数 24名（うち県外11名）

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	14 (100)	442,000 265,000	380,429 (117)	93 (102)	4,103 (115)
	雄	15 (100)	620,000 383,000	475,867 (122)	98 (88)	4,833 (137)
乳牛	雄	9 (100)	198,000 1,000	147,556 (143)	74 (110)	2,003 (130)
交雑牛	メス	36 (100)	322,000 211,000	262,694 (172)	72 (100)	3,629 (170)
	雄	38 (100)	335,000 235,000	298,342 (187)	77 (101)	3,856 (184)
経産牛		1 (100)	339,000 339,000	339,000 (—)		
初妊牛		9 (100)	669,000 487,000	570,222 (132)		
搾乳用雌子牛		5 (100)	285,000 244,000	264,000 (136)		

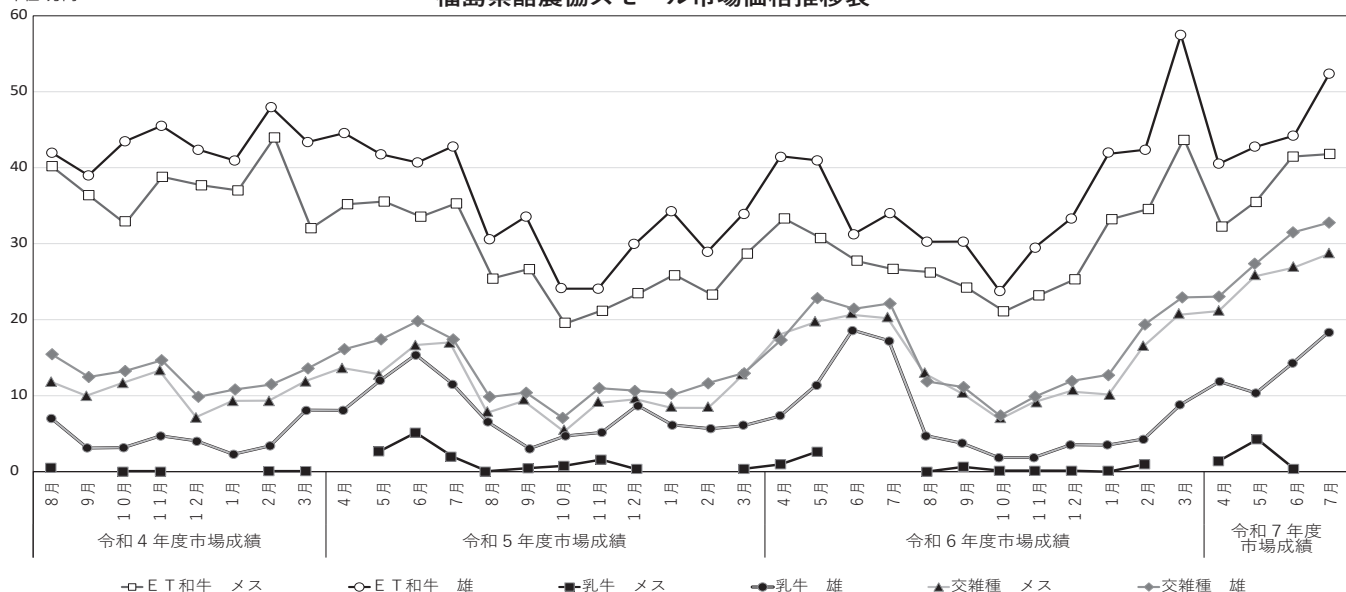
初生牛・妊娠牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

(0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																									
		<36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	～	53	54	～	58	59	60	61	62	63	64	65	
ET和牛	メス	4		2	1	2	2	1	1	1																	
	雄			1	1				1	2	4	1		1		1	1		1				1				
乳 牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	メス																										
	雄	1			1													1		4	2						
交雑牛		<9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
	メス													2		5	7	4	4	5	3	2	3		1		
	雄															1	1	2	3	4	3	2	4	7	7	4	
経産牛		<10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
																									1		
初妊牛		<46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	
		3		1						2	3			1					1			1					
搾乳用雌子牛		<10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
																2		1	1	1							

単位:万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 7 月

7月1日	東北酪農団体協議会総会	7月15日	地産地消運動促進
7月3日	三役委員長会議		ふくしま協同組合協議会総会
7月3日	第4回理事会	7月17日	全国酪農発表大会（岡山県）
7月3日	(株)らくのう乳販取締役会	7月18日	酪王協同乳業(株)新工場落成記念式典
7月4日	経営検討会	7月22日	生乳の安全・安心確保のための福島県協議会
7月4日	県酪女性部やまびこ会役員会	7月22日	JAグループ原発事故損害賠償対策協議会総会
7月8日	FD24会通常総会	7月22日	全日本ホルスタイン共進会出品選考委員会
7月9日	職員業績発表大会	～23日	
7月10日	東北生乳販連理事会	7月24日	全酪連監事会・理事会・通常総会
7月10日	乳牛改良推進協議会主催 牛群検定研修会	7月25日	東北生乳販連通常総会・理事会
7月11日	乳牛せり市場	7月28日	県獣医畜産技術総合研究発表会
7月14日	県北地区牛魂慰霊祭	7月29日	県酪農青年研究連盟役員会
7月15日	乳牛改良推進協議会主催 毛刈り講習会	7月29日	酪王協同乳業(株)合同研修会

理 事 会

第4回 令和7年7月3日

議 案

報告事項

第1号議案 夏季手当の支給について

- (1) NPO法人FAR-Netの現状報告について
- (2) 各地区座談会の報告について
- (3) 今後の日程について

令和7年度異動等辞令交付

◆新採用（令和7年8月1日付）

職 位	氏 名	新 任
一 般 職 位	吉 田 満 雄	生産部指導診療所

2025年 SUMMER

夏の哺育特別キャンペーン のご案内

分娩が増えるこの時期に、哺育飼料の特別価格キャンペーンを行うことになりました。夏バテしやすい気温ではありますが、暑さに打ち勝つ子牛を育てるためにぜひこの機会にお役立てください！



◆期間

令和7年8月1日～8月31日までの供給分

◆内容

カーフトップシリーズの3製品に対して、
通常価格から700円の値下げを行います！



お問い合わせは福島県酪農業協同組合、または全酪連スタッフまで！

酪王協同乳業からの
お知らせ

酪王紅茶オレ

拡大するカフェインレス市場に手軽に飲めるカフェインレスミルクティーがないことに着目し、2020年に発売し大変ご好評をいただいた「酪王紅茶オレ」を再ラインナップします。

香り高い紅茶にミルクをたっぷりに加え、甘さ控えめに仕上げたあの味わいはそのままに、生クリームを増量してさらにロイヤル感を追及しました。

カフェインを取り除いた後でも紅茶の風味が残るよう、深いコクと適度な渋みがあるケニア産紅茶だけを100%使用。

カフェイン摂取量を自分でコントロールしつつ、紅茶の味にもこだわりたい「ミルクティー好き」の方にも満足いただける一杯です。



発売日：2025年9月8日(月)より

販売先：県内各スーパー、コンビニエンスストアなどでお求めいただけます。

価 格：オープン価格

規 格：ミルク分 60%、乳飲料規格

福島県牛乳普及協会
令和6年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
全国各地の受賞レシピをご紹介します



里芋のミルクスープ

福島県立福島西高等学校
石渡 あかり さん



材 料

(材料:4人分)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・里芋 …………… 300g | ・水 …………… 300ml |
| ・しめじ …………… 1袋 | ・中華スープ …… 小さじ1 |
| ・玉ねぎ …………… 1/2個 | ・牛乳 …………… 400ml |
| ・塩鮭 …………… 2切 | ・味噌 …………… 大さじ1 |
| ・バター …………… 20g | ・パセリ …………… 少々 |

●作り方

- ① 里芋は皮むき済みを使用。食べやすい大きさに切る。
- ② しめじは石突を落とし小分けする。
- ③ 玉ねぎは薄くスライスする。
- ④ 鮭はオーブントースターで10分焼く。焼き上がったら皮と小骨を丁寧に取り除く。
- ⑤ 鍋にバターを溶かし玉ねぎを弱火でしんなりするまで炒める。

- ⑥ 里芋としめじを入れてさらに炒め、水と中華スープの素を加えて10分くらい煮る。
- ⑦ 鮭を入れ少し煮たら牛乳を加える。最後に味噌を入れる。
- ⑧ 器に盛り付けて、パセリを添えて完成。

ポイント

焼鮭の香ばしさと塩味がアクセントのミルクスープです。里芋で優しいとろみがでるように仕上げました。

『特派員 報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思います。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岩谷 宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里塚17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>